

TAKE YOUR CHANCE ～茨の道にも花は咲く～



暑くなってきましたね。テストも終わり、行事がだんだん混んできく。楽しみながらも、8～9月には夏休み明けテスト、全統模試、GTECがある。先を見据え、行事に流されてしまわぬように。

テストが終わり、そして

本来なら5月に行われるはずだった「確認テスト」がコロナウイルスでなくなり、結果的に1学期唯一のテストとなった今回。休校中課題も範囲に入っていたりして、少々苦労はあったかもしれないと想像しているが、十分力を尽くしただろうか。もちろん、テストの点数は1学期成績の唯一の材料ではないとはいえ、割合としては大きいだろうから、そのことを念頭に頑張っただろうとは思っている。

さて、テスト前は睡眠時間も削って打ち込んだとは思いますが、そろそろ、勉強も受験を意識したものにしてほしいと思う。とくに国・数・英だ。短期間で頭に詰め込んだ知識は、抜けるのも早い。出入りの速度はある程度比例している。急激にダイエットしてもリバウンドしてしまうようなものか……。直前に定例テスト用の勉強をして何とか乗り切っても、テストの後は忘れちゃった、というのでは悲しすぎやしないか。

入試は、3年間で得た知識や技能を特定の時期に一気に試されるわけで、相当な分量があるから、なんとなくやっていたのでは受験勉強の最初の方にやったことは忘れてしまう。3年生の最後に使える力をつけるのだ、という意識のもと、やり方も工夫していかなければならないだろう。

具体的には時々の振り返りや、模擬試験の入念な復習、授業や課題の活用があげられるだろう。役に立つように使おうと思えば役に立つものが、日常の中にごろごろしているぞ。宿題をただ提出するだけ、授業は先生が板書したことをただ写すだけ、それでは力につかない。本当の力をつけるために模試を活用し、模試でもいい結果を残して自信がつけられるように、普段の授業・課題・定例テストをがんばる、そういう目的意識のある勉強に、そろそろ変えていこう。新人戦が終われば受験生への転換期がすぐ来る。力が全くないと苦しいから。

入試や模試という大きめの目標を意識して、勉強しよう。ヒットの延長がホームランと王選手は言ったが、ホームランは狙わないと入らない、と多くの選手が言う。要するに王選手はすべての打席で意識せずともホームランを狙っていたのではないかな。

部活動の代がわり

高校総体がなかった。吹奏楽部・箏曲部・音楽部の定期演奏会ができなかった。3年生がそれぞれに区切りをつけていく中、各部で新チームが発足している。自分たちも3～4月となかなか練習ができず、休校明けも確たる目標を持つことが難しい状態で練習してきて、もう君たちの代だ。後輩を率いながら自分の技量を高めることは簡単ではなく、不安を感じている者もいるだろう。一方で、自分たちの代になったことでテンションが高まり、気合が入っている者もいるだろう。

船出の形はそれぞれだ。しかし、われわれ人間は今ある状況の中でやっていくしかない、やっていく生き物だ。どうせやるなら、恵まれない状況を嘆くのではなく、できる中で最高のものを作って行こうじゃないか。コロナによる逆境の中、部活動に向かう姿勢、自分たちの目的・目標を考え、流されずにやっていくことは君たちの人生の糧となるはずだ。

コロナウイルス対策について (保護者の方もご覧ください)

学年集会で、マスク着用についてはだいぶ話した。青森県内のコロナウイルス感染状況が落ち着いているとはいえ、頭に置いておくべきことはいくつもある。19日から県外への一般人の移動が解禁になること、潜伏期間が2週間程度あり、未発症でも感染している可能性があること、無症状での感染もあること、家族にお年寄りや病人がいる生徒も確実にいて、外からウイルスを持ち帰るわけには絶対にはいかないこと。

マスクをしていない人が、そこそこに増えている。着用の徹底は、どこの場面に行ってもなかなか難しくなってきた。こんな時こそ考えよう。自衛、周囲への配慮、想像力、社会倫理、周囲との人間関係、……。力による統制には、いかなる場面でも限界がある。コロナウイルス対策を持続可能なものにしていくためには、それぞれの思慮深さと社会レベルの向上が必要。どこかに、平和でできるだけ安全な方法がないか、この機会に考えてみてほしいと、強く思っている。

主任公開ダイエットコーナー

現在79.9kg(-2.5kg、5月比)。結構順調に減ってきたが、ここへ来て停滞気味。今週は少し増えた。しかし、一喜一憂はしない。自分を信じる！ まだまだいける。そんな中、夜ウォーキング中に、同じ堀小学区のTの財布を拾うというミラクル。

保護者の皆様へ 修学旅行について

18日（金）学年集会で、生徒に修学旅行実施に向けての方針を話しました。保護者の皆様にはここでお伝えしたいと思います。

コロナ禍で、3月から修学旅行の可否について検討してきました。当初は、毎週状況が変わり、収束もまったく見通せなかったもので、2月への延期、それでもだめなら中止と考えていました。受験準備や3年1学期の行事を考えても、やはり来年度まで修学旅行を持ち越すことはできないという考えもありました。実際、2月延期案を旅行社に立ててもらい、宿泊先も目星をつけていました（コロナの状況下で、仮予約はどれも受け付けてはいませんが）。ところが4、5月と月が進んで状況が変わり、緊急事態宣言も解除されました。現在の心配は第2波があるのか、それはいつなのか、と変わってきました。第2波がいつ来るのかは全くわかりません。修学旅行を延期する意義が薄れてきたのです。そんな中考えたのは、2月に延期した場合、真冬なので、出発時に大雪に見舞われることもある、また、旅先も冬のさなかで旅行も大変である、インフルエンザの流行期でもあり、下手をすればコロナとダブルパンチという事態も考える、ということです。学校行

事の視点で行くと、修学旅行を終えてから1月に学習合宿（秋田・湯瀬）に行って、受験生への切り替えを行うという流れにも合わなくなります。

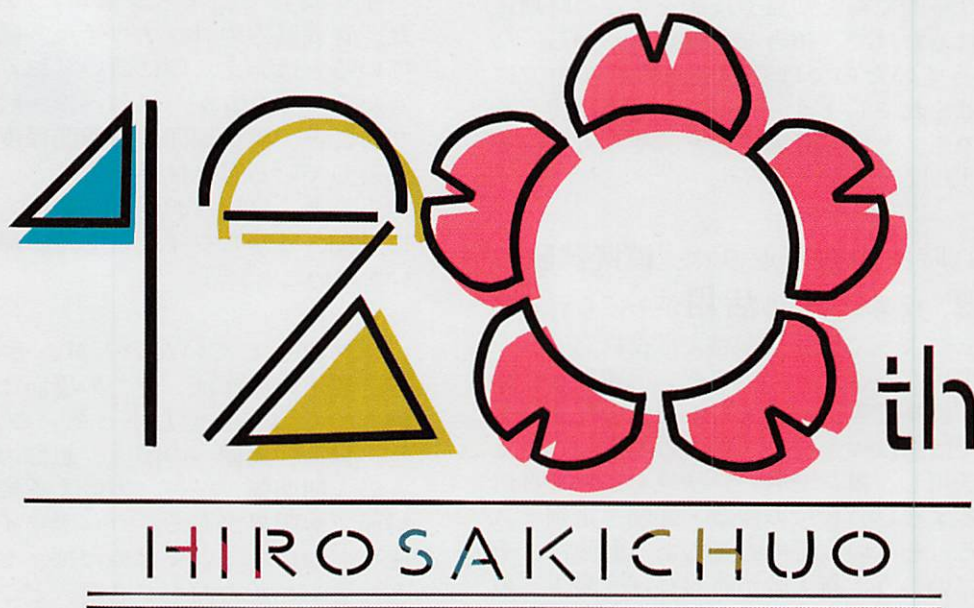
結論として、修学旅行は現行日程の12/6（日）～10（木）のままでの実施を目指し、時期が迫った頃にコロナ第2波が来て、実施困難となれば、延期なしの中止、という結論になりました。問題になりそうな宝塚、USJは、期日が近づいてきて利用不可と判明すれば、日程変更で対応する予定です。もし中止となれば、旅行社の旅行企画料金（生徒一人当たり1,240円）を除いて、料金は返還できる見込みです。

12月ギリギリまで様子を見て、実施できなさそうなら2月に延期、とすることができればいいのですが、宿泊先の確保等を考えると、決断は今するしかないという判断です。

日程をずらすわけではないので現時点で校長名の文書等はお出ししません。コロナの状況が落ち着くのを待って、ご連絡が遅くなりました。ご心配をおかけしたことをお詫びします。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

創立120周年ロゴが決定

本校は今年が創立120周年。11月3日には記念式典も行われます。各高校、10年ごとの周年行事はなかなか盛大に行われるのです。コロナウイルスによる休校の影響でなかなか募集がはかどらない中、4点の作品が応募され、その中から26HR・Nさんの作品が選ばれました！！



デザインの意味

文字を切り離す→「自律」 文字の太さを細くすることで過去のロゴよりも新しさを表現→「進取」（細い線に統一し品性・知性をアピール） 全体的に優しい色使い→「誠実」

トライアド配色によって3つの校訓の要素からなっていることを示している。「0」に桜の形を用いることで、弘前中央高校が弘前公園の桜とともに歩んできたことを表現している。

とのことです。上記のデザインの理由もデザインとともに提出され、この部分も非常に高い評価を得ました。おめでとう、そしてありがとう！